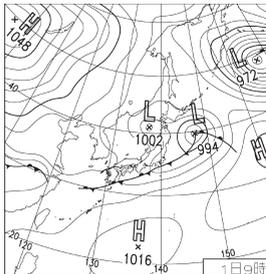


日々の天気図

— No. 63

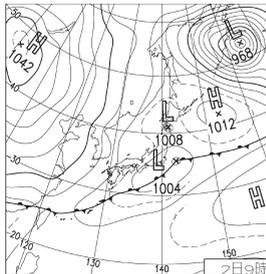
2007年 4月

- 1日、低気圧の影響で千葉県勝浦市33.2m/s、静岡県熱海市31.9m/sの最大瞬間風速を観測。
- 18日～19日、低気圧と前線の影響で、諸島で低気圧、宮古島で竜巻、東京都八丈町32.5m/sの瞬間風速。
- 28日、上空に寒気、関東甲信各地で突風。東京都千代田区30.8m/s。(気象庁予報部予報課)



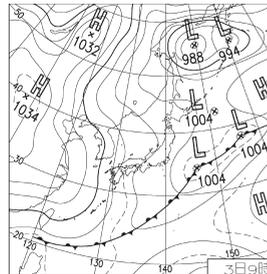
1日(日)本格的な黄砂

前線に近い九州は曇りや雨。東日本は概ね晴れ。静岡市清水区の最高気温31.8℃。全国で今年初の真夏日。九州～東北北部の広範囲で黄砂観測。熊本、広島、水戸など7官署でサクラ満開。



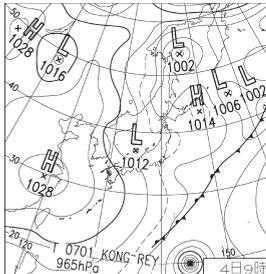
2日(月)黄砂続く

低気圧が東北北部と関東の東海上にあり前線が南岸に停滞。北海道や東北で雨。前日に続き東北～九州の広範囲で黄砂観測。熊本、広島、水戸など7官署でサクラ満開。



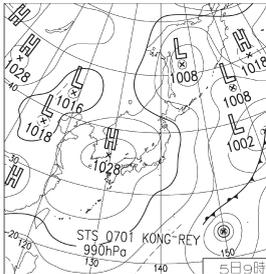
3日(火)関東花冷え

日本の東海上の低気圧からのびる前線が本州の南海上に停滞。北海道や東北で雨。前日に続き東北～九州の広範囲で黄砂観測。熊本、広島、水戸など7官署でサクラ満開。東京は日中に5.9℃の最低気温を観測。



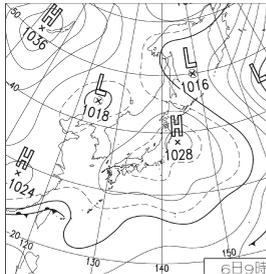
4日(水)東京でみぞれを観測

石川県輪島市の上空5400m付近で-36℃以下の寒気。全国的に最低気温は平年より低めで、概ね3月上旬～下旬並。東京都千代田区でみぞれを観測。鳥取市の北海上で竜巻。



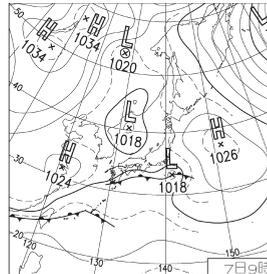
5日(木)九州で氷点下

移動性の高気圧に覆われる。東日本～南西諸島は晴れ。北日本は寒気が残る所々で雨や雪。気温低く最低気温は熊本県人吉市で-1.3℃。最高気温は全般に3月中・下旬並。



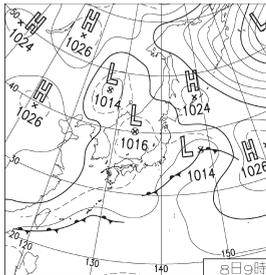
6日(金)台風第1号温低化

日本付近は移動性の高気圧に覆われ概ね晴れ。九州は高気圧の縁を回る湿った空気が流れ込み曇りや弱い雨。関東では北東からの冷たい気流の影響で北部を中心に曇り。



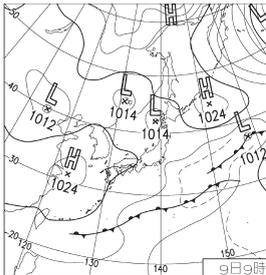
7日(土)北・東日本は行楽日和

日中は北海道南部を除く北日本、東日本と九州で概ね晴れ。四国と南西諸島は雨や曇。その他は曇り。長野市で平年より1週間早くサクラ開花。北海道函館市でヒバリ初鳴。



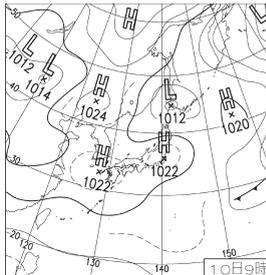
8日(日)桜前線 能登半島まで

北日本は寒気の影響。南西諸島は前線の影響で曇りや雨。その他は概ね晴れ。東日本～北日本は午後不安定で所々雷雨。鹿児島県屋久島で竜巻。石川県輪島市でサクラ開花。



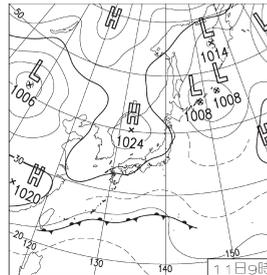
9日(月)大気の状態が不安定

北日本は低気圧の影響で曇りや雨。東日本は朝夕、大気の状態が不安定となり所々雷雨。西日本は高気圧に覆われて晴れ。新潟県佐渡市相川でサクラ開花。



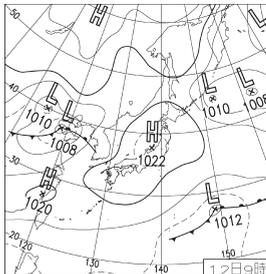
10日(火)引き続き大気不安定

札幌の上空約5300mに-38℃以下の寒気。北日本中心に大気の状態不安定。北海道～関東北部の一部で雷雨。関東以西は晴れ。長崎市で平年より8日早くノダフジ開花。



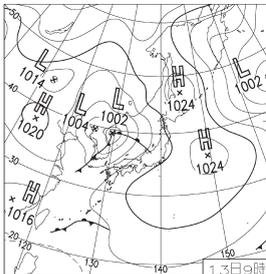
11日(水)関東甲信 午後不安定

北海道は上空に寒気を伴った低気圧の影響で雪や雨。九州南部と南西諸島は南海上の前線の影響で曇りや雨。その他は概ね晴れたが、関東甲信は午後雨。滋賀県彦根市でサクラ満開。



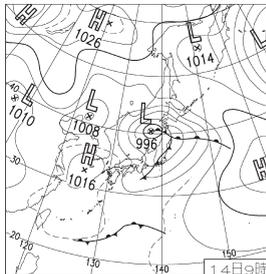
12日(木)全国的に晴れる

北海道は、上空の寒気の影響で曇りや雨。本州付近は広く移動性高気圧に覆われ晴れたが、明け方を中心に霧が発生。山形県酒田市で平年より4日早くサクラ開花。



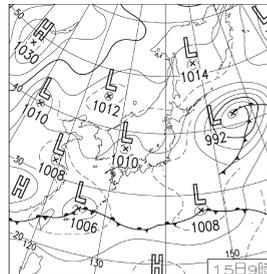
13日(金)全国的に気温上昇

低気圧が日本海を東進。暖かい南風が入って全国的に気温上昇。また、各地で強風を観測。金沢市で29.3m/sの最大瞬間風速。南極観測船「しらせ」東京港に帰港。



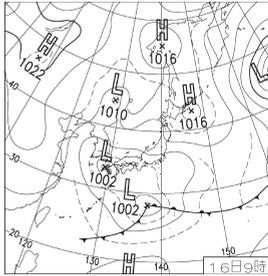
14日(土)北海道で春の大雪

北日本に低気圧が接近。東北・北陸は雨。北海道は雪。その他は概ね晴れ。最高気温は東・西日本で軒並み20℃を超え一部で夏日。北海道十勝支庁大樹町で29cm/24hの降雪。

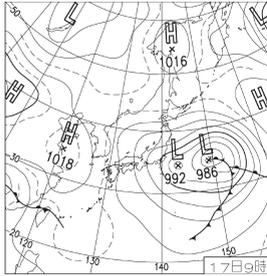


15日(日)三重県で震度5強

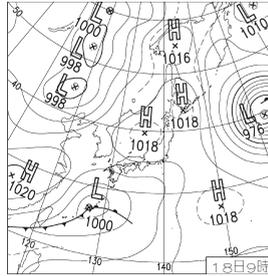
12時19分。震源は三重県中部。南西諸島は低気圧の通過で非常に激しい雨。沖繩県石垣市伊原間で57.5mm/1h。石川県輪島市・新潟県佐渡市相川でサクラ満開。



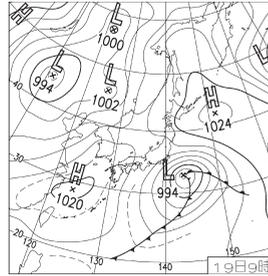
16日(月)全国的に雨や雷雨
 上空に寒気を伴った低気圧が本州通過。西日本～東日本中心に雨。最高気温は東日本～東北で平年より5～9℃低い。熊本市、高知県土佐清水市足摺岬でひょう。九州・沖縄で黄砂。



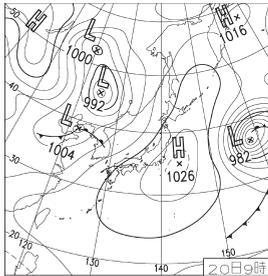
17日(火)低気圧発達
 低気圧が関東の東海上にあり、関東の沿岸では風が非常に強く大しけ。千葉県銚子市で最大瞬間風速27.8 m/sを観測。神奈川では三浦市三崎港で小型漁船転覆。



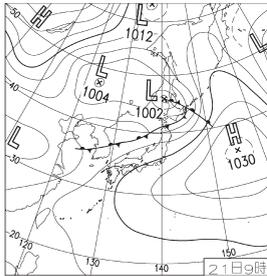
18日(水)富山県立山町でなだれ
 低気圧が日本の南海上を東北東進。西日本から雨が降り出す。移動性の高気圧に覆われた北日本を除いて気温が低く、最高気温は2月下旬～3月中旬並。秋田市でサクラ開花。



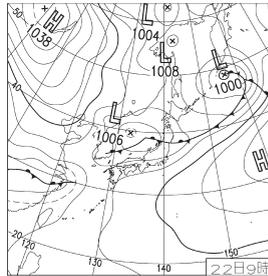
19日(木)関東甲信の山沿いで雪
 北・西日本と南西諸島は日中概ね晴れ。南海上の低気圧の影響で関東甲信は朝のうちまで雨。標高の高い所は雪。栃木県奥日光中禅寺湖畔で12 cm/24 hの降雪。



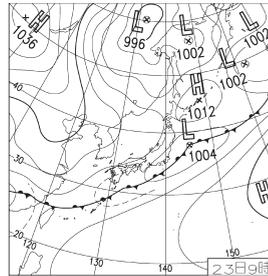
20日(金)先島諸島に津波注意報
 10時46分、宮古島北西沖を震源とする地震。宮古島で震度3。日本付近は高気圧に覆われ概ね晴れ。北日本は曇りや弱い雨。盛岡市でサクラ開花。



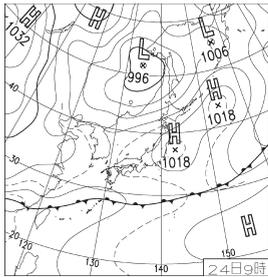
21日(土)北海道 初夏の陽気
 北日本を前線が通過。北日本～北陸は雨の所が多いが、南から暖気が入り朝から気温が高い。最高気温は北海道網走市で平年より9.5℃高い19.3℃。関東は晴れ、その他は曇り。



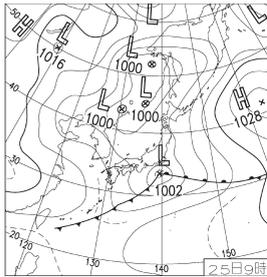
22日(日)菜種梅雨
 日本海を低気圧が東進。停滞前線に伴う活発な積乱雲を含む雲域が本州をゆっくり南下。関東の沿岸部は、南南西の風が強く、東京都千代田区で最大瞬間風速27.1 m/sを観測。



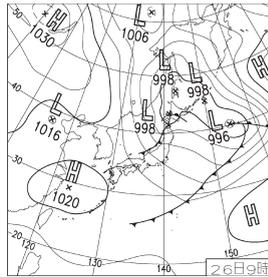
23日(月)前線が南岸に停滞
 三陸沖の低気圧からのびる前線が本州の南岸、東シナ海を経て華南に達する。北海道は概ね晴れたが、本州は、はじめ曇りの所多し。関東南部は所々で小雨。



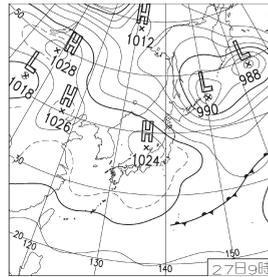
24日(火)沖縄県で非常に激しい雨
 北日本は概ね晴れ。東日本は北陸の晴れを除いて曇。西日本は午前中は晴れや曇、午後は九州から雨。南西諸島は雨で所々非常に激しい雨。沖縄県本部町謝花で69 mm/1 h。



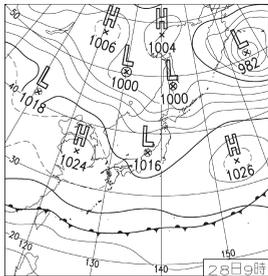
25日(水)沖縄と伊豆諸島で大雨
 日本の南海上を前線を伴った低気圧が東北東進。北海道で晴れた他は曇りや雨。西日本は曇りから次第に晴れ。青森市でサクラ開花。種子島で満開(開花から24日後)。



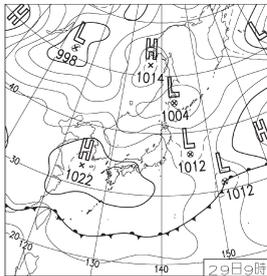
26日(木)寒冷前線通過
 寒冷前線が北日本を通過し、強い寒気が南下。北日本～東日本は所々で雷雨。山形県酒田市でひょう。西日本は高気圧に覆われ晴れ。青森県八戸市でサクラ開花。



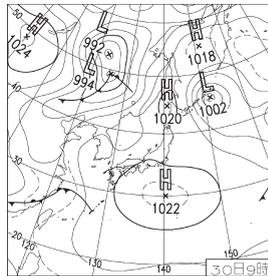
27日(金)日曇(ひがさ)
 北日本は冷たい北西風で所々雪。本州は高気圧に覆われ、概ね晴れ。西日本太平洋側～関東南部にかけて巻層雲が広がり、太陽の周りに光の輪がかかる「日曇」が見られる。



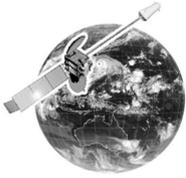
28日(土)雷雨、突風
 上空に寒気を伴った低気圧が東日本を通過し、東北南部から近畿地方にかけて雷雨。東京でも午後雷雨。最大瞬間風速30.8 m/s。各地で強風や落雷による災害多発。



29日(日)西・東日本 行楽日和
 東北地方の太平洋側と南西諸島で曇ったほかは概ね晴れ。西・東日本は晴れて気温も20℃を超え一部では夏日となったが、湿度が低くすがすがしい行楽日和。

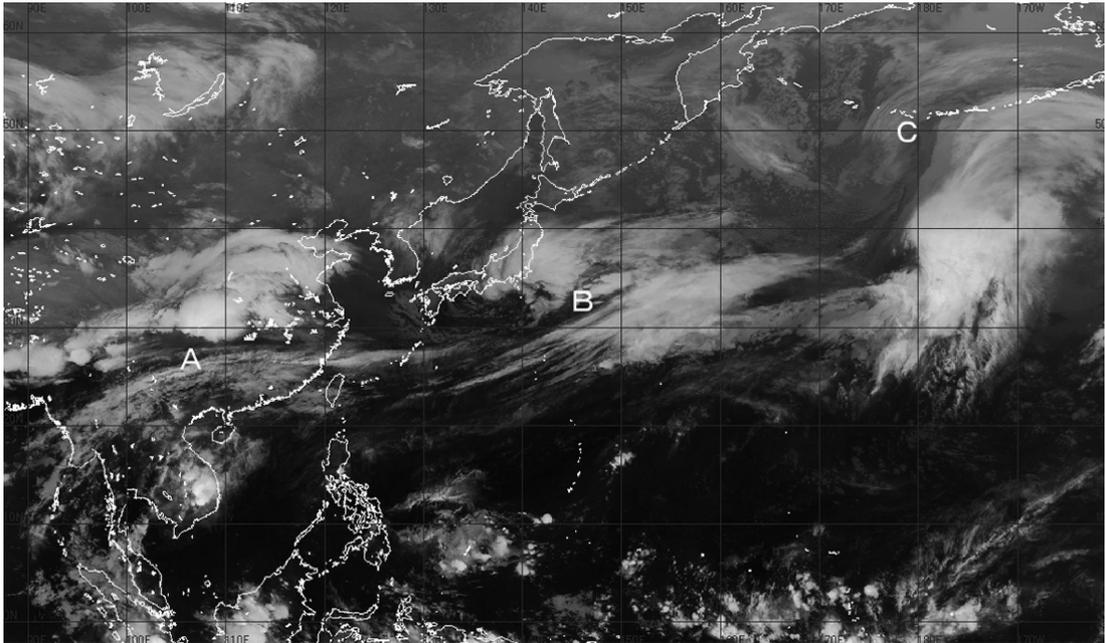


30日(月)函館サクラ開花
 気圧の谷が大陸から接近し、九州は曇りで次第に雨。他は南海上の高気圧に覆われて概ね晴れ。九州を除く西日本～東北は、最高気温が5月下旬から7月上旬並。



今月のひまわり画像—2007年4月

三世代で並んだ低気圧



2007年4月17日3時の赤外画像

4月は日本付近を動きの速い低気圧が次々に通過し、短い周期で天気が変わることが多かった。

画像は4月17日3時の赤外画像で、低気圧の雲域が3つ、経度にして30～40°間隔で並んでいる。同時刻の地上天気図（図略）で解析された低気圧の中心位置をA、B、Cで示す。温帯低気圧の雲パターンは低気圧の発達段階を表しており、Aは発生期、Bは発達期、Cは閉塞期～衰弱期の雲パターンに相当する。

Aの低気圧は、この時刻に初めて天気図に現れ、18日9時には沖縄本島付近に達し、その後は本州の南海上を東北東に進んでいった。この低気圧の影響で18日は南西諸島や九州南部で大雨が降り、熊本県阿蘇山では28 cmの積雪を観測した。

Bの発達中の低気圧は15日に台湾の北東の東シナ海

上で発生して東北東に進み、南西諸島や四国、伊豆諸島に短時間強雨をもたらした。このあと北東に進みながら急速に発達し、日本の東海上は暴風のため大しけとなった。

Cの低気圧は、中心付近に雲頂高度の高い発達した雲はなく、最盛期を過ぎている。この低気圧が13日から14日にかけて北日本を通過する際、中心からのびた寒冷前線の近傍で落雷や短時間強雨が発生し、静岡県掛川市では突風による被害があった。

3月から5月は温帯低気圧の発生数が多く、日本列島はその通り道になる。発達しながら通過していく低気圧は天気に大きな影響を及ぼし、時として重大な災害を引き起こすので十分な監視が必要である。

（気象庁予報部予報課 小池仁治）